レスポンシブル･ケア　データ集
2026 年度

1　2025 年度レスポンシブル・ケア実施報告と 2026 年度計画　・・・・　1
2　レスポンシブル・ケア項目別取組補足　・・・・　3
3　環境・安全データ　・・・・　6
4　地区ごとの主要環境データ　・・・・　9

報告対象組織:堺化学工業(株)
報告対象期間:2025 年 4 月～2026 年 3 月

1　2025 年度レスポンシブル・ケア実施報告と 2026 年度計画

2025 年度目標	2025 年度実績		2026 年度の目標
	内容	評価	
【環境保全】			
●CO_2 排出量 ・Scope1,2 削減率(2013 年度比)　2030 年度 30%	46%削減	○	目標継続
・Scope3 の算定継続	算定実施	○	算定を継続する
●エネルギー原単位　前年度比 1%削減	2.1%削減	○	目標継続
●産業廃棄物排出量削減率(2021 年度比) 2030 年度 50%	38%削減	―	2030 年度に向け目標継続
●廃プラスチック　再資源化＋熱回収処理 前年度比　比率増加	前年度比 3.9 ポイント増	○	目標継続
●法令・条例基準値　基準値遵守	一時的な基準値の超過(4 件)	×	目標継続
●水使用量削減率(2021 年度比) 2030 年度 25%	14%削減	―	2030 年度に向け目標継続
●重大な環境事故発生件数　0 件/年	0 件	○	目標継続
【保安防災】			
●備蓄品管理、使用訓練の実施	備蓄品の更新や暑熱対策品の追加、備蓄品の使用訓練実施	○	目標継続
●津波避難訓練、消防訓練の実施	事業所・工場ごとに避難訓練・総合防災訓練実施 消防設備点検及び職場毎の消防訓練実施 小名浜地区：津波避難場所の再編	○	目標継続
●災害対策総本部の活動訓練の実施	小名浜地区：対策本部訓練を図上訓練にて実施	○	目標継続
●安否確認訓練の実施	毎月の安否確認訓練に実施 実施日付を月ごとに変え、実効性の向上を図った	○	目標継続
●2021 年 5 月 11 日発生の湯本工場爆発・火災事故への対応 ・堆積粉じんの除去	粉じん爆発の危険性のある製品の生産工場において、定期的な堆積粉じんの除去作業を実施	○	目標継続
・爆発火災事故の風化防止	2025 年 5 月 9 日　経営トップからのメッセージ発信および「静電気リスクアセスメントの進め方と実施例」講演会開催	○	目標継続
・安全衛生活動への取組みの強化	VR 災害体感機を導入し「階段による転倒」のテーマで全従業員対象に VR 教育実施	○	目標継続
【労働安全衛生】			
●休業 4 日以上の労働災害死傷者数　0 人／年	2 人／年	×	目標継続
●労働損失日数　0 日／年	33 日／年	×	目標継続

【物流安全】			
●イエローカード運用の継続	運用継続	○	目標継続
●元請物流会社との連絡会	堺、小名浜両地区で、物流安全品質会議を毎月開催	○	目標継続
【化学品・製品の安全・品質】			
●法令順守のための情報収集・社内共有	法令改正等の情報を入手し、統括部門から関係部門・部署へ情報共有	○	目標継続
●製品情報の伝達・提供	SDS や chemSHERPA による情報提供実施	○	目標継続
●化学物質関連の教育実施	環境マネジメントシステムや、化学物質関連法規制に関し、e-ラーニングを活用した従業員教育を実施	○	目標継続
【社会との対話】			
●各事業所が所在する地域において、近隣住民と操業に対する理解と環境の改善・工場に向けた対話や情報交換を行う	小名浜地区の産業廃棄物処分場や事業所の所在地区の会合に出席し、安全操業や環境改善に向けた取り組みを説明し、意見交換	○	目標継続
●各事業所が所在する地域における各種行事への参加や、定期的に行っている事業所周辺の清掃活動を実施する	地域清掃活動への参加 地域行事への参加・協賛	○	目標継続
●各事業所が所在する地域における各種行事やイベントへの参加をとおして次世代育成に貢献する	・堺市教育委員会主催「堺科学教育フェスタ」に参加 ・いわきカーボンニュートラルコンソーシアムに協賛 ・平工業高校社会人講座に講師派遣 ・地域の学生を迎え、実習への協力・職場見学会実施	○	目標継続

2 レスポンシブル・ケア項目別取組補足

2-1 環境保全

●環境保全に関する目標

堺化学グループでは、マテリアリティに関連した KPI を 2024 年度に見直しました。環境保全の目標も、2025 年度よりこれに合わせて変更しています。エネルギー管理や EMS 活動の枠組みを通じて状況を把握し、目標の達成に向けて取り組んでまいります。

●産業廃棄物最終処分場について

産業廃棄物の最終処分をおこなっている内郷処分場・渡辺処分場の維持管理情報を、定期的にホームページ上で公表しております。

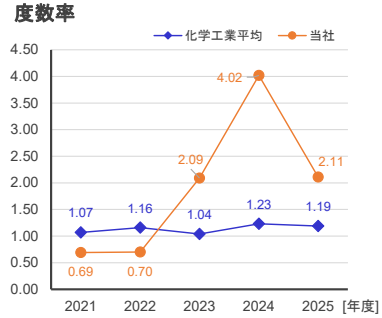
堺化学(株)では、化学製品の製造に伴う廃棄物は「自社の責任において自然に返す」との考えのもと、自社で産業廃棄物最終処分場を保有してまいりました。2026 年 3 月期の顔料級酸化チタン事業の終了に伴い、産業廃棄物の発生が大幅に減少する見込みです。最終処分場を保有する目的は一定程度達成できたと考え、渡辺処分場についてはより有効に活用いただける第三者へ譲渡することを決定し、2026 年 4 月に物件を引き渡ししております。内郷処分場については、維持管理・監視を継続しております。

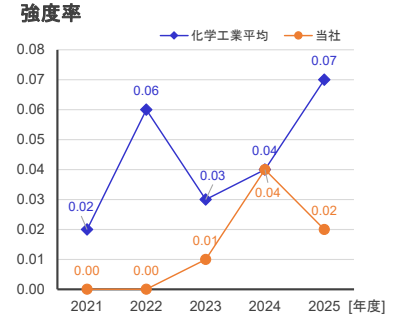
https://www.sakai-chem.co.jp/wp/wp-content/uploads/2026/03/20260324-固定資産の譲渡に関するお知らせ-1.pdf

2-2 労働安全衛生

●労働災害発生状況

2025 年度は休業災害が 3 件(内、休業日数 4 日以上のものは 2 件)発生しました。2024 年度の 6 件(同 4 件)と比較すると減少していますが、労働災害多発の状況であると認識しております。従来の安全衛生活動に加え、2025 年度から VR(仮想現実)技術を活用した災害対策訓練も導入・継続し、安全文化の構築につなげられるよう活動してまいります。





度数率：100 万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数。労働災害の頻度の指標。
強度率：1,000 延実労働時間当たりの労働災害による延労働損失日数。労働災害の重さの程度の指標。
化学工業平均：厚生労働省の労働災害動向調査より、事業所規模 100 人以上の産業別統計結果

●安全衛生活動の推進、安全衛生教育の充実

堺化学グループでは、グループ安全会議を年 2 回開催し、グループ内での安全意識の向上を図り、安全な作業と環境の構築に努めています。また、グループ全体を対象とした講習会も開催しています。

堺化学内でも e-ラーニングや講習会などを通じ、管理職から一般社員まで役割に応じた安全衛生教育を実施しています。

労働安全衛生の取組みについて、統合報告書 2026 でも取り上げておりますので、合わせてご参照ください。

2-3 保安防災

●定期的な防災訓練

実施拠点	実施日	内容
堺事業所	2025/11/5	大阪 880 万人訓練に合わせ総合防災訓練
	2025/12/17	備蓄品使用訓練
	2026/2/20	スモークマシンを使用した煙避難訓練 (和泉防災株式会社様ご協力)
	2026/3/5	総合防災訓練(消防署合同)
小名浜事業所	2025/7/4	硫化水素ガス漏洩を想定した防災訓練
	2025/10/9	火災を想定した防災訓練
(松原工場)	2025/5/27	夜間火災想定訓練
	2025/12/3	夜間火災想定訓練(消防署合同)
(湯本工場)	2025/6/5	火災想定訓練
	2025/12/11	火災想定訓練(消防署合同)
(大剣工場)	2025/5/29	火災想定訓練
	2025/12/4	夜間火災想定訓練(消防署合同)

小名浜事業所では、119 番通報模擬訓練や CO_2 消火器取扱講習を開催し、有事の際に的確な対応ができるよう取り組んでおります。

堺化学工業(株)では、災害等の発生時の連絡手段の確保と従業員の安否確認・把握を速やかに行うため、安否確認システムを導入し、使用訓練を毎月行っております。毎月 25 日の使用訓練としておりましたが、より実効性を高められるよう、2026 年 2 月からは日付を定めない抜き打ち訓練に変更しました。

●過去事例を教訓とした安全衛生・保安防災活動

2021 年 5 月 11 月に湯本工場の亜鉛末工場にて爆発火災事故を起こしてしまい、事故により被災された方々や近隣の住民及び事業者の皆さま、お客さまを含め多くの方々に多大なご迷惑をおかけしました。

湯本工場の爆発火災事故の発生日を「安全への誓い」とし、毎年 5 月にグループ全体に社長名でのメッセージ発信、および爆発火災事故を風化させないことと安全意識と知識の向上を目的とした講演会を開催しています。2025 年度は、5 月 9 日にメッセージ発信、同日にグループ会社全体を対象とした講演会「静電気リスクアセスメントの進め方と実施例」を開催しました。

粉じん爆発の危険性のある製品を特定し、その生産工場における定期的な堆積粉じんの除去や帯電防止タイプの着衣・靴の着用など、継続した取り組みも実施しております。

2-4 物流安全

輸送事故時に運転手や消防・警察などが取るべき措置内容を記載した緊急連絡カード(イエローカード)を、一般社団法人 日本化学工業協会による「物流安全管理指針」に沿って作成し、継続的に物流会社へ提供しています。

また、労働安全衛生法令の改正動向を把握し、ラベル表示対象となった製品には適切に表示し、万一の事故時に対応者が最低限必要な情報が得られるよう努めております。

2-5 化学品・製品の安全・品質

●品質への取組み

堺化学工業(株)では、品質マネジメントシステム(QMS)の国際規格である ISO9001(JIS Q9001:2015)の認証を取得し、運用しています。堺事業所と小名浜事業所両拠点の品質保証部を中心に、製品品質の信頼性向上に向けて取り組んでおります。

品質への取組みについて、統合報告書 2026 でも取り上げておりますので、合わせてご参照ください。

●化学品・製品の安全への取組み

堺化学工業(株)では、お客様に当社製品を安全にお使いいただけるよう、JIS(GHS)に基づいた安全データシート(SDS)の提供を継続しています。SDS は、化学品の危険有害性や取扱に関する情報を伝達するための文書です。また、製品含有化学物質の情報伝達共通スキームである chemSHERPA による製品含有化学物質情報も提供しております。

2-6 地域コミュニケーション

●在阪地区(堺事業所、泉北工場、石津・忠岡工場)の取組み

2025 年 11 月 21 日に、参加者に化学の面白さをお伝えすべく、堺市教育委員会が主催する「堺科学教育フェスタ」に参加しました。また、地域学生を迎え、職場見学会も実施しております。

「第 53 回堺まつり」に協賛し、2025 年 10 月 19 日の本祭では従業員有志 6 名がボランティアとしても参加しております。また、堺事業所周辺道路の清掃活動を通じ、地域の美化にも貢献しています。

●小名浜地区(小名浜事業所、大剣工場、湯本工場)の取組み

2025 年 8 月 1 日に「いわきおどり小名浜大会」が開催され、労働組合小名浜支部を中心とした有志グループが参加し、今回は入賞することはできませんでしたが「西野屋賞」をいただくことができました。翌 8 月 2 日の「第 70 回いわき花火大会」にも協賛しております。

2025 年 10 月 19 日に「第 33 回泉ふるさと祭り」に協賛・出店し、2026 年 2 月 22 日の「第 17 回いわきサンシャインマラソン」にも従業員が参加し、イベントの活性化と地域の方々との交流を図りました。

また、「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」の一環として、小名浜事業所および社宅周辺の清掃活動にも取り組んでおります。

3 環境・安全データ

エネルギー/CO_2 排出量※1

(年度)

		単位	2021	2022	2023	2024	2025
エネルギー	エネルギー消費量※2	原油換算 kL	70,800	64,600	54,800	55,100	47,300
	うち、PPA 買電量※3	千 kWh	―	―	939	1,259	1,194
	うち、クレジットエネルギー※4	千 Nm3	1,024	1,024	3,375	3,677	3,837
	エネルギー原単位前年度比	%	98.5	103.8	100.4	97.8	97.9
CO_2 排出量	Scope1	千 t-CO_2	91	83	65	64	54
	Scope2(マーケット基準)	千 t-CO_2	43	41	39	36	31
	Scope2(ロケーション基準)	千 t-CO_2	42	40	37	35	31
	Scope1+2(マーケット基準)	千 t-CO_2	134	124	104	99.5	85.0
	CO_2 オフセット量※4	千 t-CO_2	2.9	2.9	10.2	10.8	11.1

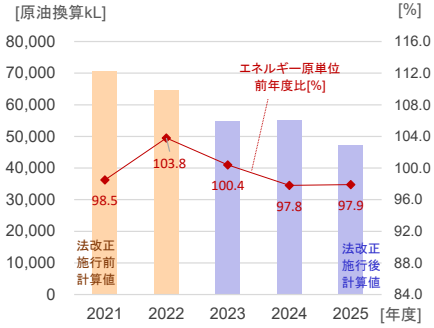
※1 省エネ法、地球温暖化対策推進法に基づき算出しています。石津工場の値は、2022 年度以降から含まれます。
※2 2023 年 4 月 1 日施行の改正省エネ法に関し、2022 年度までは施行前の、2023 年度以降は施行後の計算値を記載しております。
※3 PPA：Power Purchase Agreement(電力購入契約)、PPA 事業者が契約者の敷地内に太陽光発電設備を無償で設置し、発電した電力を契約者が購入するビジネスモデル。
※4 小名浜事業所松原工場及び大剣工場を対象に、東京ガス(株)のカーボンオフセット都市ガスを調達しています。カーボンオフセット都市ガスについては URL：https://carbon-neutral-lng.jp/をご参照ください。

廃棄物

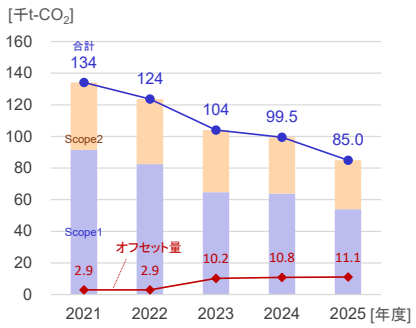
(年度)

		単位	2021	2022	2023	2024	2025
産業廃棄物	産業廃棄物排出量	t	52,000	43,800	37,200	36,600	32,200
	うち、再生処理委託量	t	274	306	315	660	709
	うち、熱回収処理委託量	t	697	570	594	562	513
	うち、その他中間処理委託量	t	312	265	290	212	519
	うち、自社埋立量	t	48,400	40,400	34,200	33,400	28,700
	うち、外部埋立処理委託量	t	2,310	2,270	1,840	1,720	1,770
廃プラスチック	廃プラスチック排出量	t	461	407	404	420	360
	うち、再生処理委託量(処理割合)	t	2 (0.5%)	0	7 (2%)	6 (1%)	4 (1%)
	うち、熱回収処理委託量(処理割合)	t	344 (75%)	308 (76%)	333 (82%)	347 (83%)	322 (90%)
	うち、その他中間処理委託量(処理割合)	t	115 (25%)	98 (24%)	64 (16%)	66 (16%)	33 (9%)
	うち、埋立処理委託量(処理割合)	t	0	0	0	0	0

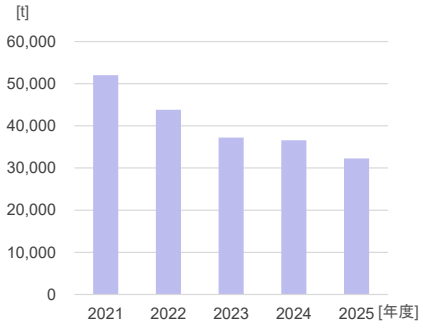
エネルギー消費量



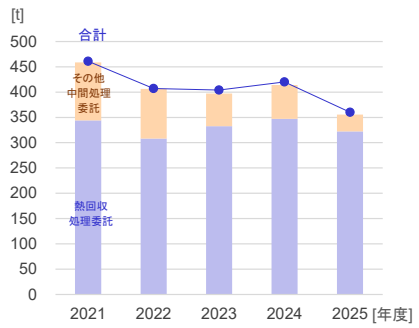
CO_2排出量(Scope1,2)



産業廃棄物排出量



廃プラスチック排出量



水

(年度)

		単位	2021	2022	2023	2024	2025
水	取水量	百万 m^3	33.8	33.9	33.9	32.4	29.1
	うち、海水	百万 m^3	21.2	21.1	20.9	19.3	18.3
	うち、工業用水	百万 m^3	12.6	12.8	12.9	13.0	10.7
	うち、上水道水	千 m^3	36.9	33.9	38.2	39.4	37.6
	うち、地下水	千 m^3	5.2	1.6	1.2	0	0
	排水量	百万 m^3	33.8	33.9	34.9	33.3	29.9

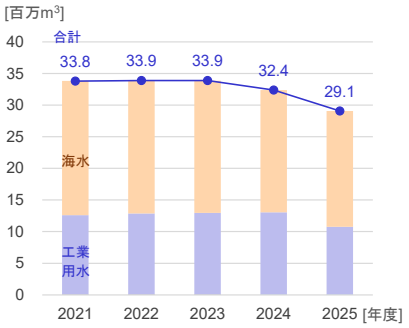
環境負荷物質

(年度)

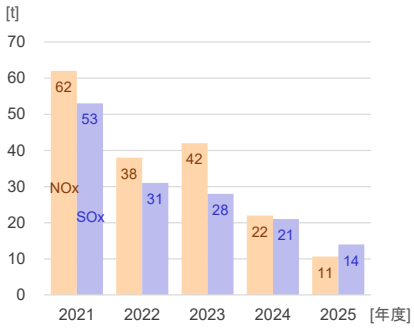
		単位	2021	2022	2023	2024	2025
大気	NOx 排出量	t	62	38	42	22	11
	SOx 排出量	t	53	31	28	21	14
	フロン排出量※4	t-CO_2	68	52	70	184	141
水質	BOD/COD 排出量※5	t	170	240	190	170	130
	全窒素排出量	t	1,100	700	1,100	680	510
	全リン排出量	t	0.05	0.05	0.06	0.02	0.12
PRTR対象	大気への排出	t	3.6	3.3	2.4	5.8	3.2
	水域への排出	t	290	260	210	140	90
	土壌への排出	t	0	0	0	0	0
	移動量	t	390	340	300	270	120

※4 フロン排出抑制法の算定漏えい量に、機器設置時の充填量と廃棄時の回収量の差も合わせた数値です。
※5 COD(化学的酸素要求量)は、河川排出の BOD(生物化学的酸素要求量)を等価として換算しています。

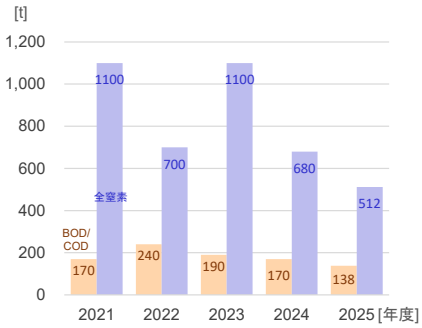
取水量



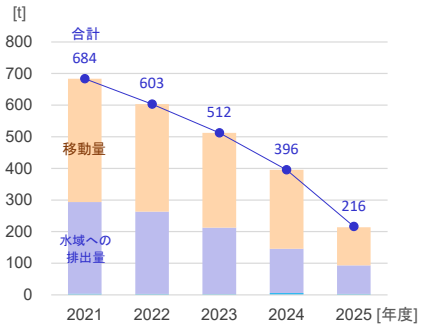
NOx, SOx排出量



BOD/COD・全窒素排出量



PRTR対象物質の排出量・移動量



PRTR 法対象物質ごとの排出量・移動量

(年度)

	単位	排出量						移動量		
		大気			水域			移動量(下水道、廃棄物)		
		2023	2024	2025	2023	2024	2025	2023	2024	2025
亜鉛の水溶性化合物	t	0	0	0	0.16	0.15	0.13	0	0	0
アニリン	t	0.06	0	0	0	0	0	0.38	0	0
チオ尿素	t	0	0	0	170	120	81	31	22	19
トルエン	t	2.3	3.5	3.2	0	0	0	25	40	37
ニッケル化合物	t	0	0	0	0.72	0.34	0.11	10	3.5	0.23
バナジウム化合物	t	0	0	0	0	0	0	0.19	0.24	0.16
ヘキサメチレンジアミン	t	0.01	2.3	0	0	0	0	0.26	25	0.06
マンガン及びその化合物	t	0	0	0	34	21	9.2	210	160	64
モリブデン及びその化合物	t	0	0	0	4.1	0.47	0	2.3	0.17	0.8
鉛及びその化合物	t	0	0	0	0	0	0	11	0	1.5

安全※

(年度)

		単位	2021	2022	2023	2024	2025
安全	休業災害発生件数	件	1	1	3	6	3
	うち、休業 4 日以上	件	1	0	1	4	2
	労働損失日数	日	6	1	8	61	33
	度数率	人/100 万延総労働時間	0.69	0.70	2.09	4.02	2.11
	強度率	日/1,000 延総労働時間	0.00	0.00	0.01	0.04	0.02

※ 堺化学工業(株)の従業員の労働災害を基としており、構内常駐業者(協力会社)等の労働災害は含みません。

Input－Output 実績(堺化学工業(株))

Input

原材料

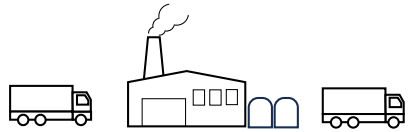
購入量 195 千t

エネルギー

消費量 47.3 千kL (原油換算)

水資源

取水量 29.1 百万m^3



Output

製品

生産量 54 千t

大気

CO_2	85.0	千t
SOx	14	t
NOx	11	t
フロン	141	t-CO2
PRTR 対象物質	3.2	t

水域

排水量	29.9	百万m^3
COD /BOD	140	t
全窒素	510	t
PRTR 対象物質	90	t

廃棄物

自社処分	32,200	t
外部委託	3,600	t
PRTR 対象物質	120	t

4 地区ごとの主要環境データ

4-1 在阪地区

「在阪地区」には、堺事業所、泉北工場、石津・忠岡工場を含みます。 (年度)

		単位	2021	2022	2023	2024	2025
エネルギー・CO_2	エネルギー消費量	原油換算 kL	12,400	13,900	10,700	10,600	11,100
	Scope1	千 t-CO_2	14	16	12	11	12
	Scope2(マーケット基準)	千 t-CO_2	7	7	9	10	8
	Scope2(ロケーション基準)	千 t-CO_2	11	10	8	8	8
	Scope1+Scope2(マーケット基準)	千 t-CO2	21	24	21	21	20
廃棄物	産業廃棄物排出量	t	2,900	2,900	2,500	2,700	3,100
	廃プラスチック排出量	t	195	186	162	172	136
水	取水量	百万 m^3	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2
	うち、海水	百万 m^3	0	0	0	0	0
	うち、工業用水	百万 m^3	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2
	うち、上水道水	千 m^3	12	9	12	11	12
	うち、地下水	千 m^3	5	2	1	0	0
	排水量	百万 m^3	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2
大気	NOx 排出量	t	6	6	6	4	6
	SOx 排出量	t	0	0	0	0	0
水質	BOD/COD 排出量	t	14	27	18	15	14
	全窒素排出量	t	17	17	15	10	8
	全リン排出量	t	0.05	0.05	0.06	0.02	0.05
PRTR 対象	大気への排出	t	3.5	3.3	2.4	5.8	3.2
	水域への排出	t	4.0	5.4	4.8	0.8	0.0
	土壌への排出	t	0	0	0	0	0
	移動量	t	57	75	50	69	40

注意書きは省略していますが、「3 環境・安全データ」項と同様の基準での集計です。

4-2 小名浜地区

「小名浜地区」には、小名浜事業所、大剣工場、湯本工場を含みます。 (年度)

		単位	2021	2022	2023	2024	2025
エネルギー・CO_2	エネルギー消費量	原油換算 kL	58,200	50,500	44,000	44,400	36,200
	Scope1	千 t-CO_2	77	66	52	53	42
	Scope2(マーケット基準)	千 t-CO_2	35	34	30	26	22
	Scope2(ロケーション基準)	千 t-CO_2	34	30	28	27	22
	Scope1+Scope2(マーケット基準)	千 t-CO_2	112	100	83	78	64
廃棄物	産業廃棄物排出量	t	49,100	40,900	34,700	33,900	29,100
	廃プラスチック排出量	t	266	222	242	249	224
水	取水量	百万 m^3	32.4	32.6	32.7	31.2	27.9
	うち、海水	百万 m^3	21.2	21.1	20.9	19.3	18.3
	うち、工業用水	百万 m^3	11.1	11.5	11.8	11.8	9.6
	うち、上水道水	千 m^3	25	25	26	28	26
	うち、地下水	千 m^3	0	0	0	0	0
	排水量	百万 m^3	32.3	32.6	33.5	32.0	28.7
大気	NOx 排出量	t	56	32	35	18	5
	SOx 排出量	t	53	31	28	21	14
水質	BOD/COD 排出量	t	160	210	170	160	130
	全窒素排出量	t	1,100	680	1,100	670	500
	全リン排出量	t	0	0	0	0	0.07
PRTR 対象	大気への排出	t	0	0	0	0	0
	水域への排出	t	290	260	200	140	90
	土壌への排出	t	0	0	0	0	0
	移動量	t	330	260	240	180	83

注意書きは省略していますが、「3 環境・安全データ」項と同様の基準での集計です。

2026 年 11 月発行

作成　堺化学工業株式会社
問合先　管理本部　品質環境安全部
メール: hinsyo-kankyo@sakai-chem.co.jp
ホームページ　https://www.sakai-chem.co.jp/jp/